



ひとみ かがやく子

(学ぶ子 やさしい子 元気な子)

東野だより

八雲町立東野小学校 東野 4 6 9 番地 1

TEL 6 6 - 2 1 6 9 FAX 6 6 - 2 0 5 9

令和 7 年 10 月 24 日(金)発行

異年齢交流が豊かな魅力ある東野小

校長 山崎 誠

異年齢交流とは、年齢が異なる（学年が違う）児童が交流（一緒に活動）するということです。

異なる学年同士の交流活動は、「自尊感情」や「規範意識」等の醸成等、子どもの成長にとって大変意義があることだと思っています。本校では、日常的に複式学級も含めて、年間を通じて、数多くの様々な異年齢での交流活動があります。「縦割り班活動」のように、異年齢での交流活動を通して、上の学年は、自分の役割を自覚して一生懸命行動したことが、「手本になった、役に立った。」と感じたときに成長します。頼られ、やり遂げたことで自信を得ることにもつながります。下の学年は、自分もいつか上級生のようになりたいと憧れ、教えてくれたことなどに感謝する気持ちをもちます。

異年齢による遊びにも、学びと成長のチャンスがたくさんあります。昼休みや放課後等、異年齢での「遊び」もよく行われ、楽しく遊び続けようとする、そこにはルールや役割分担、問題解決力が必要になります。異年齢で行われる遊びは、人を思いやる気持ちやいたわり、人と協力する気持ちを育むことにもつながります。

学校の教育活動において、異年齢の交流活動を、年間を通して、計画的に無理なく実施することで「人と関わることが好き・楽しい」「自分から他の人に働きかけられる」「人の役に立っている」等の思いや自信、誇りをもち、上の学年から下の学年へ、やがて下の学年が上の学年に。

小学校の6年間で、役割の推移を伴いながら全ての児童が着実に成長していく。そして良き伝統として脈々と受け継がれていく。それが本校の（地域）の良さであり、大きな魅力の一つになっていると感じています。



1日	土	学芸発表会・午前授業(給食なし)
2日	日	
3日	月	文化の日
4日	火	振替休業日
5日	水	全校集会・校内研修(1・2年4時間、3～6年5時間授業)
6日	木	
7日	金	給食あり 14:00 下校(先生方の勉強会のため)
8日	土	
9日	日	
10日	月	
11日	火	ALT 来校
12日	水	第14回職員会議(1.2年4時間、3～6年5時間授業)
13日	木	ピアサポート小中交流会
14日	金	移動図書
15日	土	八雲町PTA連合研究大会(野田生中 10:00～)
16日	日	
17日	月	
18日	火	ALT 来校
19日	水	校内研修(1・2年4時間、3～6年5時間授業)
20日	木	渡復・町復前日準備
21日	金	全校 3 時間授業(渡復・町復研究大会(浜松小・山越小)の為)
22日	土	
23日	日	勤労感謝の日
24日	月	振替休日
25日	火	ALT 来校・
26日	水	収穫祭
27日	木	全学年5時間授業、指導主事要請訪問日
28日	金	後期委員会②(3～6年6h)学校だより11月号発行
29日	土	渡島PTA連合研究大会(zoom)9:45～
30日	日	

稲刈り体験



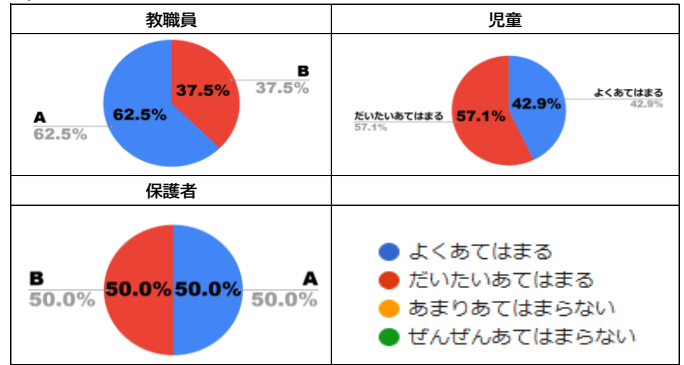
10月8日(火)に山越小、野田生小の児童も参加して稲刈りを体験しました。山後継者会(会長 林時正さん)の皆様、丁寧に指導してもらい、子どもたちは安全に稲刈りができました。6月に植えた苗が順調に育ち、収穫の喜びを感じられたのは、山後継者会の皆様に管理していただいたおかげです。ありがとうございました。

学校評価

前期の学校評価には、ご回答、ご意見頂きありがとうございます。今後も子どもたちが安心して学校生活を送れるように、全教職員で見守ってまいります。お気付きの点やご質問等ありましたら、66-2169 担当：教頭までご連絡ください。

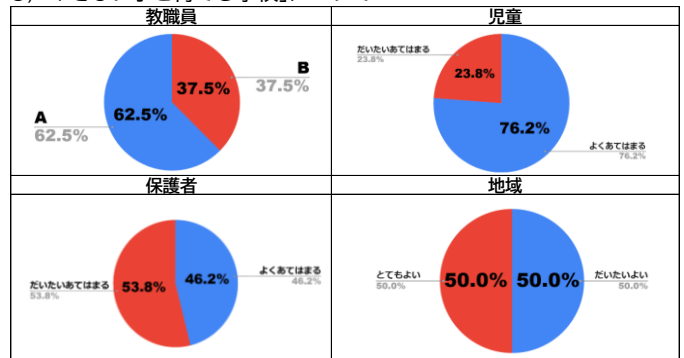
・安全・安定した学校」になるように努力してまいります。

4,「一人一人の児童と向き合う学校」について



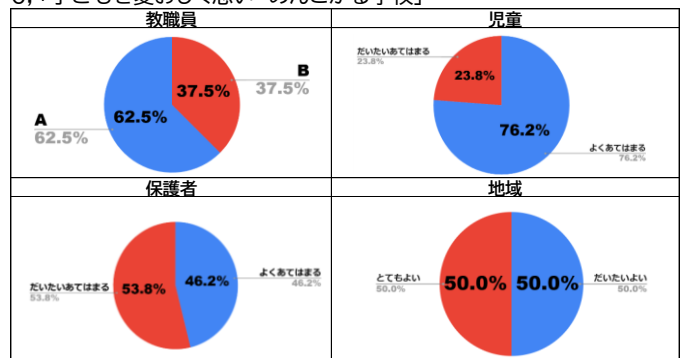
◎児童・保護者・教職員共に、「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」を合わせて100%になりました。今後もお子さん一人一人と向き合い、多様性を認め、個別最適な教育になるように、保護者の皆様とも連携していきたいと考えています。

5,「やさしい子を育てる学校」について



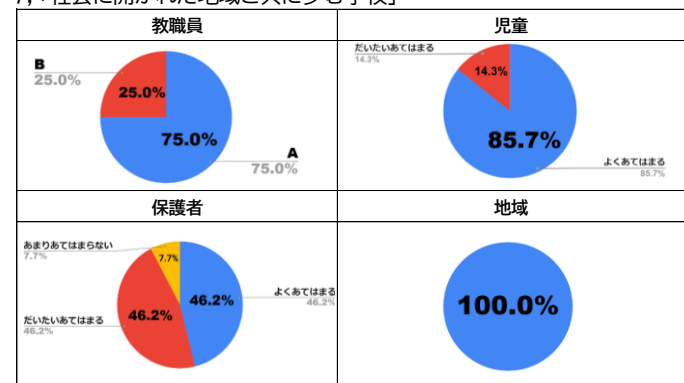
◎児童・保護者・教職員共に、「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」を合わせて100%です。本校では道徳教育に加え、「とべないほたる」等の物語を通して子どもの心に訴えかけています。今後も児童の心を見守りながら、やさしい子を育てていきます。

6,「子どもを愛おしく思い めんこがる学校」



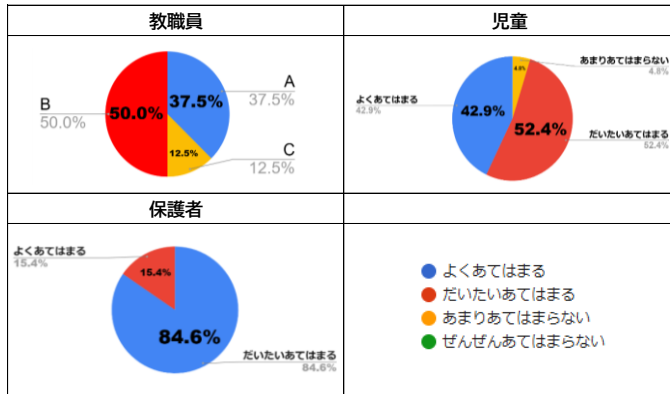
◎児童・保護者・教職員共に、「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」を合わせて100%です。特に地域の皆様には、高い評価を頂きました。今後も学校・保護者・地域で子どもたちを見守り、子どもたちが安心安全に過ごせる環境を作っていきます。そして、皆様と一緒に、「子どもをめんこがる学校」作りを推進していきます。

7,「社会に開かれた地域と共に歩む学校」



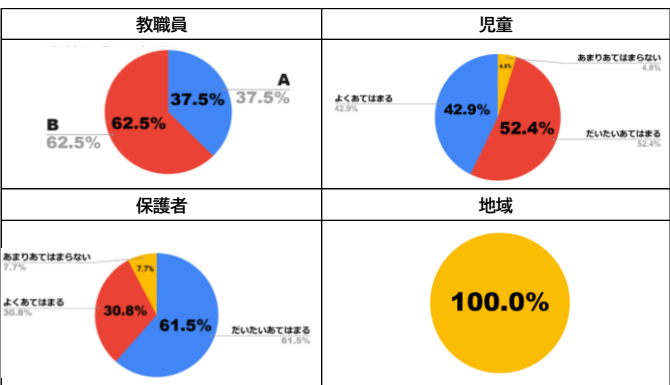
◎「社会に開かれた地域と共に歩む学校」については、児童・教職員は「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」を合わせて100%、保護者92.3%でした。現在皆様のご協力を頂き、地域教育資源・地域人材活用による「ふるさと東野学習」の実施を図り、子どもたちの故郷への愛着心を育みます。今後も野田生中CS一貫教育も含め、地域と連携した教育を進めていきます。

1,「授業がよくわかる学校」について



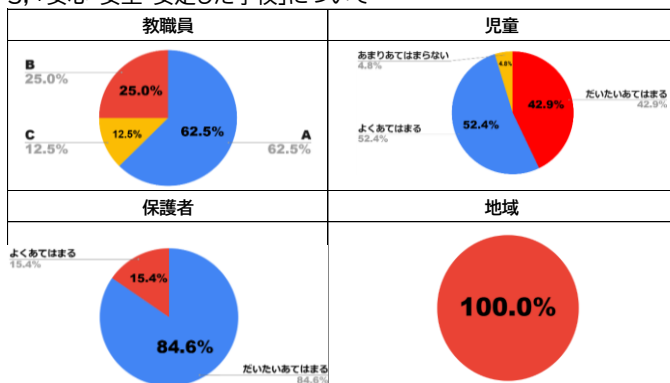
◎「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」が児童は95.3%、保護者は100%でした。今後も、「東野スタンダード」を基盤に学習への姿勢を整え、学習の基礎基本の定着を目指します。

2,「読解力・ICT活用力の向上を目指す学校」について



◎「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」が児童、保護者で90%を超えています。特に昼の音読活動を通して文を読むことに抵抗感を感じる子が少なくなっているようです。町の移動図書館なども活用して読書を楽しめる子を増やしていきます。ICTの活用では、学びの豊かさにつながる指導をしています。

3,「安心・安全・安定した学校」について



◎児童・保護者共に、「よくあてはまる＋だいたいあてはまる」を合わせて100%、教職員では87%でした。学校では、日常的に児童の様子に気を配りながら、急を要するものは、その都度打ち合わせをもち、全員周知し、指導してきました。今後も保護者の皆様と共通理解を図りながら、「安心

【保護者様からご意見を頂きました。】

- ・写生会、またやれば良いのになと思います。
- ・学年が上のお友達を呼ぶ時は“さん付け”で呼ぶという慣習だったと思うのですが、最近は結構グダグダですね？みんな仲よし、という捉え方もあるのかもしれませんが、ケジメも必要だと感じます。
- (学校から)・写生会は、小学校の学習内容が増えたため、やむを得ず削減した行事の一つです。図工の学習内容では「見て描く」に含まれていますので、行事としてはありませんが、学習しているとご理解ください。
- ・お互いを大切に思う心を育むことで思いやりが生まれます。ご意見を真摯に受け止め、今後の指導でお友達の大切に思う呼び方を子どもたちに根付かせていきます。ご指摘ありがとうございます。